

「衆議院選挙結果」についての藤吉建二石化協会長コメント

平成21年8月31日
石油化学工業協会

今回、民主党が圧勝したのは、閉塞状態の打破を強く望む国民の意思が反映されたものだろう。新総理のリーダーシップの下で早期に新体制を構築し、山積する内外の諸課題の解決に取り組んで欲しい。

石油化学業界としては、温室効果ガスの挑戦的な削減目標に対する現実の対応策、特に国内排出量取引制度や、地球温暖化対策税など今後の具体化を注視したい。特定産業に過度の負担にならないようバランスの取れた対応が必要と考える。

また、原料ナフサ等への石油・石炭税免税の恒久化等、国際競争力強化のために必要な税制・法制面での改革もこれまで以上に積極的に進めて頂きたい。

今回の政権交代により、政府も産業も含めて日本全体が活性化され、より競争力のある優れた国に変貌することを期待している。

以上